

### 3-4 環境に配慮した水道

#### 4.(1) 省エネルギーの推進および自然エネルギーの利用

- 主な取り組み

池田浄水場の省エネ化・省資源化、新エネルギー（再生可能エネルギー・燃料電池）活用の検討

- 事業評価

△(計画通り行ったが十分ではない)

- 現状

計画では池田浄水場の改修に合わせて新エネルギーを導入し、省エネルギー化を図る予定でしたが、敷地内のスペースに余裕がなかったため、代わりに鳩山町配水場に太陽光発電システムを導入しました。

指標名	事業体	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
再生可能エネルギー 利用率 (%)	鳩山町	0.00	0.00	3.08	2.02	1.71	1.21	0.86	0.80	0.78	0.72
	県内同規模	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-

再生可能エネルギー利用率：全施設の電力使用量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもの。環境負荷低減に対する取り組み度合いを表す指標。高い方が良い。

- 課題及び方針

現在、喫緊の課題はありません。

省エネルギー対策については、高効率機器への更新など、通常の事業活動の範囲内で引き続き継続する必要があります。

#### 4.(2) 建設副産物の有効利用

- 主な取り組み

浅層埋設の推進、建設副産物の有効利用率・リサイクル率の向上

- 事業評価

○(計画通り行えた)

- 現状

水道管の布設工事の際の土砂の発生を抑制するため、浅層埋設を推進するとともに、建設副産物のリサイクルを徹底しています。

- 課題及び方針

現在、喫緊の課題はありません。

環境負荷低減のためにも、引き続き継続する必要があります。

#### 4.(3) 有効率の維持

- 主な取り組み

老朽管の更新による有効率の維持

- 事業評価

○(計画通り行えた)

- 現状

有効率は県内の同規模事業体の平均と比べて高い値となっていますが、管路の更新率は低い値となっています。

指標名	事業体	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
有効率 (%)	鳩山町	94.0	94.8	96.1	96.0	95.4	95.1	94.9	94.6	93.8	93.0
	県内同規模	87.4	87.8	87.6	88.8	88.0	88.1	88.4	88.1	-	-
法定耐用年数 超過管路率 (%)	鳩山町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	28.3	28.1	27.0	25.7
	県内同規模	6.1	5.2	1.7	8.5	11.2	10.7	16.8	21.4	-	-
管路の更新率 (%)	鳩山町	0.1	0.3	3.3	0.0	0.0	0.4	0.1	0.4	0.9	0.5
	県内同規模	1.2	1.5	1.5	1.5	1.1	1.1	0.9	0.6	-	-

有効率：年間配水量に対する年間有効水量の割合を示すもの。高いほど、漏水などで水が消費されずに有効利用されたことを表す指標。高い方が良い。

- 課題及び方針

一般に老朽管が多ければ漏水の可能性が上がるため、有効率は低下します。今後も、老朽管更新工事を継続し、引き続き有効率の維持に取り組む必要があります。